



Jan, 2000

10

LPO編集室：〒174-0063 東京都板橋区前野町3-43-7 楽譜専門部 (株)松沢書店内 TEL：03-5970-5917

# 『井上直幸 ピアノ奏法』ビデオ版 (全二巻)

井上直幸  
いのうえ なおゆき

美しい映像と優れた音質のビデオで、ピアノを弾く喜び・聴く楽しみを再発見！

『ピアノ奏法』は一昨年十一月末の発売以来たくさんの方が読んでくださって、非常に嬉しく思っています。ただ、なにしろ初めて書いた本なので、この反響の大きさには正直言って戸惑っているというか、不思議な感じもしていますが……。

発売当初から、活字だけではなく実際に音を聴きたいというお便りがたくさん寄せられて、僕自身も書いていたときから、音楽のことを文章だけで伝えるというのはほとんど不可能だと痛感していたので、ビデオ化のプランが起ったときには、少し大変だけれどもとても良いことだと思いました。

ビデオの内容は、本の内容が基本になっていますが、新たに作曲家ことの話をつけ加えました。これは、本の続編として計画していたものです。

## 第①巻 『作曲家の世界』バツハからドビュッシーまで

代表的な作曲家七人（バツハ、ハイドゥン、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、シューマン、ドビュッシー）をとりあげ、それぞれの音楽の特徴、スタイルと演奏法のポイントと思われるものを、僕なりにまとめてみました。言葉ではなかなか伝えにくいことを、今回のビデオではいろいろな曲を例として演奏しています。この巻は、必ずしもピアノを演奏しない方でも、音楽が好きならならば、きつと楽しんで見ていただけたらと思います。

## 第②巻 『さまざまなテクニク』タッチとペダリング

本の中で詳しく説明した技術的な問題を、ピアノの弦やダンパー、ペダル、指や手足の動きをクローズアップして撮影してもらい、いろいろな曲例を演奏しながら説明しています。「こう弾かねばならない」ということではなく、ビデオを見る方々が、それぞれ自分が演奏するときのヒントにしていただければと思います。

ビデオでは、できるだけ雰囲気の良い美しい映像と、響きの細かいニュアンスが伝わるような録音ができればと願っていましたが、幸い、優れたスタッフに恵まれました。もちろん、僕の話と演奏が良くなければいけません。一〇〇%の出来などということは不可能で、少なくとも、現在のところの僕の考えはある程度伝えることができたのではないかと思っています。

ピアノを弾く方たち、教えている先生方のために、何かの参考になれば幸いです。

## 『井上直幸 ピアノ奏法』ビデオ版 全二巻 三月中旬発売予定

第①巻 『作曲家の世界』バツハからドビュッシーまで (約100分)  
第②巻 『さまざまなテクニク』タッチとペダリング (約70分)

①②とも価格 各四三〇〇円＋税

【スタッフ】制作・発売 (株)春秋社 / 演出 (株)テレビマンユニオン  
大原れい子 / 技術 (株)後藤修 / 音響技術 (株)カメライタ・トウキョウ 高島靖久 / 調律 梅垣信夫 / 使用ピアノ II スタインウェイ  
I ハンブルク製 D二七四モデル / 収録 II 八ヶ岳高原音楽室

### プロフィール

一九四〇年福岡生まれ。桐朋音楽大ピアノ科卒業後、一九六四年西ドイツに留学。フランクフルク国立音楽大学卒、同大講師となる。六六年ミュンヘンでピアニストとしてデビュー。七六年まで二年間、ドイツで教育・演奏活動を行ない、その間ルドルフ・ゼルキンの招きによりマールボロ音楽祭に参加し、またシエーンベルクのピアノ全曲の演奏会を録音し高い評価を得る。一九七六年帰国後、NHK『ピアノ』のコーナーに出演。その誠実な人柄、明快な指導で多くのファンを獲得した。

(八二年にも再登場。その後、リサイタル、オーケストラとの共演、CD録音など多彩な活動を展開。現在、武蔵川女子大学教授、校訂楽譜に『ハイドゥン・ピアノ作品集』(全二巻、春秋社)がある。



# ピアノレッスン新時代

「これからのピアノレッスンは、生徒の『音楽的自立』を目指すレッスンを！」

えんち かすこ  
江口寿子

皆さま、新年明けましておめでとうございます。  
新しい年を迎え、気分も新たにレッスンを始めていらっしゃるものと存じますが、依然ピアノの先生を取り巻く状況には厳しいものがあるようです。しかし、そんな中にも希望を持って明るい光を見出していくためには……？  
絶対音感プログラムの創始者であり、またピアノ教育者としても多様な活動を展開されている、江口寿子先生にお聞きしました。

## ●ピアノをやめる

ピアノの先生が集まって最初に話題にのぼるのは、「生徒が集まらなくて困っている」という話です。

ある日のピアノの先生の会でも、こんな会話が交わされました。

「生徒が集まらなくて困っていますが、みなさんのところはどうですか？」

「ダメですね。二〇年くらい前は断るのに困るほどきたのに……」

「子どもが少ないから、しかたがないんでしょうか？」

「一人の先生が大きくなつぎながら、自分自身をも慰めるようにしていました。」

「しかたないと思います。私は、もうとつくにあきらめてしまいました。幼稚園

が閉園になったり、小学校が統合される

“少子化”の時代ですからね」

先生たちがその発言に納得しかけたとき、もう一人の先生が別の問題を投げかけました。

「おまけに、いまの子どもは、すぐレッスンをやめちゃうんですね。」

「そこなんです。がまんが足りないんですよ。ほんとにしまつが悪いです」

「とにかく飽きっぽいですね。ピアノをはじめるときはすごく嬉しそうだったのに、すぐに飽きちゃって、こんどはやめる、やめる……、根性がいいですね」

「親の躰も悪いんじゃないですか？ 最近の若いお母さんは、自分が飽きっぽくて、躰なんかできやしないんですよ」

## ●プロフィール

国立音楽大学ピアノ科卒。絶対音感プログラムの創始者。ピアノ指導のかたわら、ピアノ教育、音楽教育、音楽心理学、児童心理学を研究。

「音楽コミュニケーションスクール（現生徒数二〇〇〇人）」をつくり、子どもたちを指導。ピアノ教師の研究サークル「子どもの音楽を考えた会（現会員数一〇〇〇人）」をつくる。ヒデオによる通信教育「PLAS（受講者数八〇〇〇人）」を行っている。

著書

「おんぶの学校」「ピアノの学校」「はじめましてピアノ」「音が光になった」「ひとりピアノが弾けた（全書）」「イメージ聴音ワークブック」「リズムワークブック（共同）」ほか多数。



これまで黙ってきいていた一人の先生も、吐き出すようになりました。

「つき合いきれませんね！」

この日も、ピアノの先生たちの話し合いは、解決策を見い出すことができませんでした。

## ●誰が悪いのか

私はよく、若いピアノの先生から、こんな質問をされます。

「よい先生になりたいのですが、どうしたらよい先生になれるのでしょうか？」

むしろかしい質問のように思えますが、私はすぐにこう答えます。

「何かうまくいかないことが起こったときに、生徒のせいにする先生は、よい先生になれません。自分のせいにする先生は、よい先生になれますよ！」

うまくいかない原因を生徒のせいにする先生は、先生は気持ちが悪いです。めんどくさければ、すべてを生徒のせいにしてしまいませんか？」

よい先生になるためには、すべて自分が悪いという心で自分の指導を反省し、新しい指導法を研究し、よりよい指導に変えていかなければなりません。

ピアノの先生はいま、深刻な生徒不足に悩まされています。一人の先生が教えている生徒の平均人数は、都心では数人くらいでしかありません。

日本は、ピアノを習う子どもの多さも世界一なら、習ったのにすぐやめてしまう子どもの多さも世界一だそうです。

どうしてでしょうか。

子どもたちがすぐピアノをやめてしまうのは、がまんが足りないからだ、飽きっぽいなからだ、根性がいいからだ、しまいは親の躰ができていないからだ、と嘆いている先生たち……。

でも、悪いのは子どもたちではないのです。悪いのは先生たちです。

子どもたちがつづけたくなるようなレッスンや、楽しいレッスンを先生が実現すれば、生徒は集まってくるし、すぐにレッスンをやめてはいかないのです。

これまでずっと子どもたちに責任転嫁してきたツケが、いままさに回ってきてしまっただけなのです。

# 「三つのT」

私はみなさんに、「いまのピアノレッスンには、三つのT「がある」とお話ししています。

「つまらない (Tumaranai) のT」「つづかない (Tuzukanai) のT」「三つのT」です。

いまのピアノレッスンは子どもたちにとって、つまらなくて、辛いものではないのです。そのため、すぐやめたくなくてしまい、つづかないのです。

ただし、子どもたちがきらいなのは、ピアノそのものではありません。ピアノレッスンはきらいなだけなのです。

では、なぜピアノレッスンは、子どもたちからきらわれるのでしょうか。

いまのピアノレッスンは子どもたちからきらわれるのは、ピアノレッスンの中では、「人間らしく生きていく」という実感が感じられないからです。

人間は誰しも、自立したい、自分を発揮したい、という本能をもっています。特に、成長期の子どもは、その願望を強くもっています。

その願望を満たしてやることのできるレッスンでなければ、つまらないし、辛いだけなので、子どもたちはほとんど逃げ去ります。

子どもたちが求めているレッスンは、子どもが主体性をもって、イキイキと、ピアノと関わっていきけるレッスンです。つまり、「音楽的自立」をめざしているレッスンです。

「音楽的自立」という言葉は、きき慣れない言葉です。なぜなら、これまでのピアノレッスンでは、「音楽的自立」などということは、ほとんど考えられたことがなかったからです。

「音楽的自立」とは、いったいどんな意味を持つ言葉なのでしょう。

## ●新時代は「音楽的自立」をめざす

「音楽的自立」とは、自分以外の人や物にたよらずに、自分一人で音楽と関わる事ができるようになることです。

「音楽的自立」には、三種類の自立があります。

一つめの自立は、「お母さんからの自立」です。お母さんの手助けなしに、レッスンを自分一人で理解し、自分一人で練習し、自分の力だけで進めていけるようになることです。

二つめの自立は、「先生からの自立」です。先生がついていなくても、自分一人で弾きたい曲を探し、楽譜を読み、練習の方法を考え、上手に弾けるようになる、自分なりの音楽を表現できるようになることです。

そのためには先生が、形だけを教えるのではなく、考え方を教えなければなりません。そして、一曲を教えることによつて、その曲と同じような一〇〇曲が弾けるような教え方をしましょう。

三つめの自立は、「楽譜からの自立」です。楽譜がなくても耳できいただけで弾きたい曲が弾けるようになったり、自

分で作曲ができるようになることです。

これまでのピアノレッスンは、楽譜なしには何も弾けない人をつくつてきました。楽譜があればむずかしい曲でも弾けるのに、楽譜がなければやさしいメロディーにさえ伴奏がつけられません。作曲などは、夢のまた夢の話です。

これからは、過去の指導法にとらわれることなく、真実のレッスンを探していくことではありませんか。

そのためには、まず先生が、ゼロから勉強する必要があります。自分が子どものときに受けたレッスンを、そのまま何の工夫もなしに、切り売り「する」レッスンは、これからは許されません。

新しいテキストを研究し、新しい指導法を身につけましょう。やり慣れたことを捨てるときには、勇気が要ります。新しいことを取り入れるためには、さらに勇気が要ります。

先生のレッスンが変われば、子どもたちも変わります。ピアノや音楽が大好きな子どもたちが、すくすく育ちます。

「ピアノレッスン新時代」を迎えられるかどうかのキャスティングポイントは、まさに先生の手のうち、つまり、あなたの手の中にあるのです。



次号からは、江口寿子先生のシリーズ連載「生徒の『音楽的自立』を目指すピアノレッスン」が始まります。どうぞお楽しみに！

## 江口寿子の手を公開!!

### ピアノ・レッスンおすすめ書籍

「これまで、多くの音楽好き、ピアノ好きの子どもを育てていらした江口先生。そのノウハウ、考え方の全てが集約された書籍をご紹介します。これらの書籍は以前 国千社 一期出版から発行され、全国の親御さん先生方から「支持」「好評」を頂いてきたものです。が、この度、全音楽譜出版社より装幀も新たに出版されることになりました。レッスンに悩んだ時「今までのレッスンのやり方ではいけない」と思った時、是非お読み下さい！」

#### ●ピアノ・レッスン書籍

『ひとりピアノが弾けた』(三月刊行)

●『ピアノ・レッスンを変える』シリーズ

「一巻」はじめてピアノ」

(二月刊行、予価一六〇〇円)

「二巻」ピアノレッスン日記

(二月刊行、予価一六〇〇円)

「三巻」絶対音感プログラム

(夏と秋の巻) (夏と秋の巻) (夏と秋の巻)

「四巻」絶対音感Q&A(近刊)

「五巻」ピアノレッスンのQ&A

(夏と秋の巻) (夏と秋の巻) (夏と秋の巻)

「六巻」早くよりわかるレッスン」

(夏と秋の巻) (夏と秋の巻) (夏と秋の巻)

「七巻」絶対音感の指導法(巻) (近刊)

「八巻」がんばれ絶対音感(巻) (近刊)

「九巻」音楽は生きていく(巻) (近刊)

「十巻」音が光になった」(三月刊行)

(以上)全音楽譜出版社より順次刊行予定

# 1月の新刊&おすすめ本

## ☆いま話題の本☆

### ●声がよくなる本

—1日6分で歌と声に自信がつく!—

(医学博士 米山文明 著)

カラオケを歌っている時に、普段使わない音域で苦しくなったことはありませんか。そんな時の予防法を医学博士がわかりやすく解説しています。

(主婦と生活社 660円 発売中)

### ●あたまで弾くピアノ

—心を表現する手段—

(ムジカノーヴァ叢書-7 山岸麗子 著)

一生懸命ピアノを練習しているのだけれど、今いち結果がついてこないなど、行き詰まっている生徒さんへの指導法を考えて書き起こされました。

(音楽之友社 2200円 発売中)

## \* CDサイズの音楽事典 \*

12cmCDジャケットサイズのおしゃれな用語事典が登場。レッスンのお伴に是非!!

### ●音楽用語事典

160ページ、1200語の楽典、音楽用語、音楽ジャンル用語、その他音楽関連用語を収録。

### ●楽器用語事典

176ページ、1200語の楽器名、パーツや構造に関する用語、奏法用語を収録。

(リットーミュージック 各950円 1/24)

## \* 最新ヒット曲 \*

### ●NHK連続テレビ小説/あすか

宮本文昭氏のオーボエが印象的な「あすか」のテーマ曲「風笛〜あすかのテーマ」をピアノソロにアレンジ。  
(kmp 500円、ジョイン 800円 1/中)

### ●HAPPINESS/GLAY

TBS系金曜ドラマ「金曜日の恋人たちへ」のテーマ曲。ピアノ弾き語りとピアノソロにアレンジ。(ドレミ 400円 1/下)

### ●Misia/LOVE IS MESSAGE

ポップミュージックの世界でその実力を認められるMisiaの2ndアルバム「LOVE IS 〜」をピアノ弾き語りで。  
(ドレミ 1400円 1/下)

### ●坂本龍一/ベスト・ワークス

自作オペラ「LIFE」から「LIFE IS PROGRESS」、映画「御法度」のサントラからのベスト曲を掲載。  
(ドレミ 1200円 1/中)

### ●ピアノがわかる! ラジオ体操〜みんなの体操〜

昨年に発表された「みんなの体操」を含め、「第一」「第二」「ラジオ体操の歌」を収録。(ヤマハ 660円 発売中)

### ●和田アキ子/ベスト・セレクション

和田アキ子本人が選んだベスト曲をピアノ弾き語りでお楽しみ下さい。「あの鐘を鳴らすのはあなた」など全20曲。  
(ドレミ 1500円 1/下)

## \* 教本・曲集 \*

### ●おんぶせかえ人形 — 改訂新版

江口寿子 考案

箱入(台紙5枚、人形10枚)

来月から本紙にて連載がスタートする、江口先生ご考案の「おんぶせかえ人形」は読譜の力を遊びながら身につける、摩訶不思議な教材です。

(共同楽譜 1500円 1/中)

### ●テュルク/クラヴィア教本

テュルク/東川清一 訳

バロック・古典派の作品を演奏する際に不可欠な裝飾音の理論と演奏法、またその表現法と指導法、生徒の心構えなどを多くの譜例とともに展開します。

(春秋社 予価6000円 1/中)

### ●Miyoshiピアノ・メロード

Volume:1・2併用曲集 ひびきの森①

Volume:3・4併用曲集 ひびきの森②

先生との連弾、生徒同士の連弾など、多彩な構成になっています。

(カワイ 各1500円 1/中)

### ●ともだちピアノ併用曲集 D

石丸由理 編

“ともだちシリーズ”併用曲集の続刊。この巻では「世界お国めぐり」として、世界各国のお話や国歌、名曲を収録。  
(ドレミ 700円 1/中)

### ●エリック・サティ/ピアノ・コレクション

NHK趣味講座「お父さんのためのピアノ講座」でも真っ先に取り上げられていたE. サティ。何とピアノの入門曲にまでピュラーになっています。そのサティの曲を、やさしいアレンジで。

(ドレミ 1000円 1/中)

### ●クラシック・ピアノ名曲辞典

編集部 編

古今のピアノ名曲、全460曲の完全楽譜をミニチュア・スコア・タイプのコンパクト版に収録。従来のテーマ辞典の不備を補って余りある、画期的な一冊となっています。

(ドレミ 3500円 1/中)

## \* アニメミュージック \*

### ●ルパン三世/LUPIN THE THIRD “JAZZ”

テーマ曲など全9曲をジャズ・ピアノトリオで。(ドレミ 1800円 1/下)

### ●アニメ・オリジナル・サントラ・コレクション集①

オリジナルサントラのベスト曲集。

(ジョイン 2000円 1/中)

\*これらの価格は税込価格ですので、お支払いの際には別途消費税を申し受けます。また、発売前の商品に関しては予定価格となっておりますので、発売後の価格が若干異なる場合がございます。あらかじめご了承くださいませ。